

2010 年度第2四半期決算説明会 質疑応答

Q テニス加入動機の上位に入っているという話ですが、『テニスといえばWOWOW』のブランドイメージが浸透してきたと考えていますか？

A この1、2年で、グランドスラム四大大会全てをWOWOWで放送する、ということがファンの皆さまに一気に浸透したと考えています。また、楽天ジャパンオープン、フェドカップ、デビスカップを新たに放送することで、テニスファンの皆さまに年間を通してテニス番組をお届けすることができるようになった結果、ご加入いただける方が増えていると考えています。

Q アナログ加入者のデジタル移行について、推進のイメージをお聞かせください。

A 有料放送事業者の強みとして、アナログ契約のお客さまを把握していますので、個別のアプローチを中心に丁寧に行っていきます。
また、スカパー、CATV経由でアナログ契約中のお客さまにつきましては、各プラットフォームと連携して対応していきます。

Q ひかりTVでのWOWOW放送がスタートしましたが、手ごたえはいかがですか？

A 具体的な数値は公表を差し控させていただきますが、スタートとしては予想以上と考えています。

Q 番組費について、コンテンツを強化していく、というお話の中で、第2四半期は前年同期に比べ7億円圧縮されていることについての要因と、通期で前年との費用比較ではどうなのか、お聞かせ下さい。

A 7億円減のうち半分は、円高によるハリウッドメジャーへ支払う映画番組配給費の減が要因です。残り半分はオリジナル番組などの有料放送番組費の減で、主な要因は昨年と今年の番組編成による差です。
例えばドラマWについて、昨年は夏に一挙編成でお届けしましたが、今年は下期に集中的な編成を予定しており、下期の費用が増え、通期の有料放送番組費は前年度と同規模になる見通しです。
番組費全体に占める有料放送番組費の割合についても、通期で60%超と、前年を上回る見通しです。

2010 年度第2四半期決算説明会 質疑応答

Q 10月13日に発表されたBSデジタルチャンネルの追加認定により明らかになった2011年以降のチャンネル布陣について、どう考えていますか？今後の見通しに変化は生じていますか？

A 2011年秋から2012年にかけて、新たにチャンネルが出てくることによって、BSデジタルが注目を浴びるということは、我々にとってプラスだと思っています
その後は厳しい競争になりますが、当社はNO.1プレミアムチャンネルとして他局にない魅力とサービスをご提供してまいりたいと考えています。

Q 昨年の認定分もあわせ、ハリウッドスタジオのチャンネルが新規参入していますが、放送権の購入に影響があるのではないですか？

A 現時点では、2011年以降のBSデジタルにおいて新規参入するハリウッドスタジオ社のチャンネルコンセプトは『総合エンターテインメントチャンネル』と聞いています。映画製作のビジネス上では、WOWOWへ放送権を販売したほうが、ハリウッドスタジオ社にとってもメリットがあるのではないかと考えており、影響はないと考えています。

(当社IRサイト(http://www.wowow.co.jp/co_info/ir)上の「IR資料室 説明会資料」に掲載しております『2011年3月期(2010年度)第2四半期決算説明会』の11ページに、BSデジタル放送追加認定結果を掲載しております)。

以上